

Sera High School Alumni News

世羅高等学校同窓会

Vol.
26

同窓会会報

2024 November

Contents

ご挨拶
同窓会事業計画・予算案・同窓会役員体制
世羅高交流会・同窓会総会・懇親会報告

クラス会報告・同窓生により
SERA-NOW! 世羅高の今
支部等活動報告
お知らせ



<https://www.dousoukai.sera-h.nss55.net/> 同窓会ホームページを検索!

世羅高同窓会

検索



同窓会会長
まつうら くに お
松浦 邦夫
(昭和45年卒)

～第26号同窓会報 発刊に寄せて～

残暑ひとときわ身にこたえるこのごろ、同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと拝察いたします。また、平素から同窓会事業の推進につきましまして、一方ならぬご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

私事ですが、本年の総会後の初理事会におきまして、同窓会の会長に再任されました。同窓会を取り巻く環境は厳しいものがある

ありますが、誠心誠意を尽くして事業の推進に努めて参りますので、ご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年も地域の一大行事「甲山廿日えびす」が8月20日に開催されました。このお祭りは江戸時代より三百年続くえびす神社を祭る年中行事です。三台の「だんじり」に昼間は子供を乗せ「吊り人形」、夜は若連中が演じる「にわか狂言」を従えて、お囃子を奏でながら町を練り歩く伝統のあるお祭りです。数十年ぶりにこの祭に出会い、心を躍らせながら町を散策したところです。引き継いでこられた関係者の皆様の並々ならぬご苦勞をひしひしと感じ、伝統文化の重みを次の世代につなげる大変さも推察いたしました。

また先日は、世羅高等学校体育祭を拝見いたしました。まだまだ続く、猛暑の中で、体育祭をそのまま継続して開催することへの懸念がありました。そうした中、大島校長先生は、広島県内初の試み

ですが、夕方から夜にかけて体育祭を開催するという案を示され見事に実践されました。生徒の気持ちは、思い出に残る体育祭は「是非やりたい」でした。それに校長・教職員や保護者の方が一緒になって、「生徒一人一人にいい思い出を残してやりたい」と取り組まれ実現したようです。体育祭終了後には、PTA主催で花火大会まで企画され、生徒・教職員・保護者・地域協力者が一体となった記念すべき学校行事となりました。このように、最近の世羅高の活躍ぶりには、一種の驚きを感じる、そんなうれしさを感じるところです。そうした成果が徐々に、世羅高等学校の実績として、表れてきていると強く感じているところです。

一方、学校を取り巻く環境は依然として厳しく、課題が浮き彫りになっています。同窓会としまして、常に学校と連携・協力しながら、一緒になって学校の発展を目指していかなければならないと思っております。

令和8年には学校創立130周年を迎えます。改めて、学校とPTAと同窓会が連携を深め、記念事業を成功裏に終えたいと考えております。同窓の皆様方のご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

終わりになりますが、今年度の同窓会報は、諸事情により発行が大変遅れました。しかしながら広報委員のご尽力により、発行時期を繰り下げ、発刊することができました。取材に際して数々の情報提供をくださいました世羅高等学校をはじめ、多くの皆様方に厚く感謝申し上げます。同窓会の一層の発展を目指して参りたいと考えておりますので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年9月



校長
おしま ゆたか
大島 裕

百花繚乱 世羅

同窓会の皆様には、平素から本校教育の充実・発展のために、ご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年度、高い志をもち果敢に挑戦する人材、支えに感謝し社会に貢献する人材を育てることを目指し「高志挑戦 感謝貢献」という新たな教育目標を定めました。

今、世羅高校では、これからの社会で活躍できる力を育成するため、世羅町や地域団体、民間企業の協力をいただきながら、

地域社会と結びつけた学びを積極的に展開しています。学びの成果としては、世羅町のデジタル推進政策と結びつけた「スマホ相談会」や「特殊詐欺防止教室」、子ども食堂「せら夢カフェ」の開催、LINEやフーの教育プログラムを活用した世羅町特産物のネット販

売の挑戦などが評価され、昨年度、文部科学大臣表彰をいただくことができました。

また、生活福祉科の広島県介護技術コンテスト3連覇、農業経営科の絶滅危惧種「ヒョウモンモドキ」保護プロジェクトや広島市中心部での都市養蜂の挑戦、男子陸上競技部20年連続出場表彰など、従来からの取組のさらなる発展にも努めています。

普通科においては、英語検定準1級合格者を2名出すことができました。大学への進学実績も広島大学や国際キリスト教大学への合格があり、20名の生徒を国公立大学に合格させることができ、着実な学力向上にも取り組んでいます。

世羅町に咲き誇る花のごとく、一人ひとりの生徒が輝く「百花繚乱」の学舎となれるよう、教職員一丸となって教育活動の充実に取り組んでまいります。同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動に対して、変わらぬご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

仏事・祝事 各種弁当

料理旅館

玉乃家

本郷 25-2

☎22-1161・FAX 22-1162

配達も致します

季節料理・宴会・仕出し・フグ・スッポン

山 福

世羅町本郷 693-2

☎(0847) 22-0219

OA機器・オフィス/事務用品
教材/教科書・学用品 他



(株)森田尚文館

tel(0847)22-0136

fax(0847)22-3051

何なりとお気軽にご相談ください♪ 世羅町西上原535-1

住宅・工場配線/高圧・低圧設備/空調設備
電気のことならお気軽にご相談ください。



株式会社 小川電気工事

OGAWA ELECTRIC CONSTRUCTION CO., LTD.

世羅郡世羅町西上原880-5

TEL(0847)22-3171 FAX(0847)22-3225

Topics

同窓会事業に在校生の教育支援として、部活等で中国大会・全国大会・海外への遠征費の支援を行っています。今年度は、農業経営科の2名が養蜂(モンゴル)と畜産(オーストラリア)の研修事業に助成しました。参加した本人にとって貴重な体験はもちろんですが、世羅高校が県内に留まらず、日本全国や海外に向けて、今後益々羽ばたくことを期待するものです。

令和6年度 同窓会事業計画

■ 継続事業 令和6年4月1日～令和7年3月31日

- 令和6年度同窓会総会の開催 【総務委員会】
 - 開催日：令和6年7月6日（土）会場：甲山農村環境改善センター
 - 当番幹事：昭和57年卒（サブ：昭和47年卒・平成4年卒）
- 世羅高等学校行事への参加 【総務委員会】
 - 卒業式、入学式、文化祭、体育祭、学びピア等
- 理事会、委員会の定期的開催 【総務委員会】
 - 定期的に理事会、常任理事会、委員会の開催により必要事項の協議と決定
- 世羅高校同窓会館の維持管理 【総務委員会】
 - 同窓会館の日常的な維持管理及び施設点検
- 同窓会入会式の開催 【総務委員会】
 - 卒業生を対象に新規会員の入会式を開催
- 賛助金制度の維持、拡充 【総務委員会、広報委員会】
 - 減少傾向にある賛助金の現況を探り、維持・拡充に努める。
- 同窓会報の発行 【広報委員会】
 - 同窓会員の現況報告、同窓会活動状況、在校生の活躍 6月発行
- 同窓会ホームページ運用 【広報委員会】
 - 同窓会員の活動状況
 - 在校生の活躍など母校の現況を発信
- 各地域同窓会・校友会行事への参加【名簿・組織委員会】
 - 東京校友会・近畿同窓会・広島校友会との連携
 - 平成、令和卒を対象に会員名簿の移動状況の整理
- 教育支援事業による在校生支援 【事業委員会】
 - 在校生及び卒業生への記念品（シャープペンシル・卒業証書台紙等）贈呈
 - 部活動での全国大会等出場の遠征費用の支援
- 全国大会等への出場チームの応援 【事業委員会】
 - 全国駅伝競走大会などへの出場に対し、同窓会としての積極的な応援

■ 新規事業

- 学校創立130周年（2026年）に向けて記念事業実行委員会の立上げ 【総務委員会】

令和6年度同窓会一般会計予算

令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位：円

勘定科目	予算額	前年度予算額	比 較	備 考
入 会 金	500,000	445,000	55,000	準会員：1年生 100人×5,000
会 費	390,000	570,000	▲180,000	正会員：3年生 78人×5,000
賛 助 金	1,300,000	1,600,000	▲300,000	2,000×700人－手数料
同窓会報広告収入	200,000	180,000	20,000	広告枠20枠×10,000
前年度繰越金	1,333,570	1,795,588	▲462,018	令和5年度分
基金会計繰入金	800,000	0	800,000	基金取り崩し
雑 収 入	14,430	19,412	▲4,982	名簿販売代金、利息など
収入合計	4,538,000	4,610,000	▲72,000	
事業費				
広報委員会費	2,455,000	1,600,000	855,000	第26号会報（印刷・発送費）2,385,000 ホームページ運営費・事務費 70,000
事業委員会費	300,000	300,000	0	入学記念 70,000 卒業記念 100,000 在校生支援事業 130,000
名簿・組織委員会費	700,000	780,000	▲80,000	東京・近畿・広島支部助成 200,000 名簿整理委託 500,000
総務委員会費	295,000	150,000	145,000	総会運営 100,000 会館整備 95,000 130周年事業実行委員会 100,000
小計	3,750,000	2,830,000	920,000	
運 営 費				
通 信 費	40,000	50,000	▲10,000	会議案内用はがき・切手等
交 際 費	70,000	70,000	0	東京・近畿・広島との協議、慶弔等
人 件 費	0	30,000	▲30,000	
需 用 費	60,000	70,000	▲10,000	電気料・燃料・事務用品等
備 品 費	20,000	40,000	▲20,000	
施設使用料	10,000	10,000	0	会議会場使用料
旅 費	150,000	140,000	10,000	東京・近畿・広島校友会旅費
積 立 金	0	800,000	▲800,000	
小計	350,000	1,210,000	▲860,000	
予備費	438,000	570,000	▲132,000	
支出合計	4,538,000	4,610,000	▲72,000	
来年度繰越金	0	0		
総合計	4,538,000	4,610,000	▲72,000	

◎付帯事項 一般会計予算の支出科目は流用出来るものとする。

単位：円

令和6年度同窓会基金予算

勘定科目	予算額	前年度予算額	比較	備 考
預 金 利 息	0	0	0	
前年度繰越金	7,235,000	7,235,000	0	H29.3.10～R5.3.23 5件分
積 立 金	0	800,000	▲800,000	
収入合計	7,235,000	8,035,000	▲800,000	
基金取り崩し	▲800,000	0	▲800,000	一般会計へ
支出合計	▲800,000	0	▲800,000	
当期末繰越金残高	6,435,000	8,035,000	▲1,600,000	

令和6～7年 世羅高等学校同窓会 役員体制

令和6年7月30日選任

	役 職	氏 名	卒業年	備 考
常任理事	会長	松 浦 邦 夫	昭和45年	
	副会長	野々部 芳 樹	昭和45年	兼 名簿組織委員長
	副会長	寺 田 宜 文	昭和47年	兼 広報委員長
	副会長	大 谷 敏 朗	昭和48年	事業委員会担当
	副会長	堺 秀 裕	昭和54年	130周年記念担当：総務委員会
	副会長	金 廣 隆 徳	平成3年	
	常任理事	馬 場 孝 則	昭和46年	兼事務局長（総務委員会）
	常任理事	光 元 信 能	昭和52年	総務委員長
総務委員会	常任理事	上 野 悟	昭和52年	事業委員長 9名
	理事	井 上 公 樹	昭和50年	副委員長
	理事	原 田 悦 二	昭和55年	会計担当理事
	理事	道 本 享 祐	昭和56年	
	理事	森 田 剛	昭和57年	
	理事	山 崎 誠	昭和60年	副委員長 5名
広報委員会	理事	栗 原 文 夫	昭和54年	
	理事	神 田 敬 州	昭和57年	副委員長
	理事	森 宗 有 香	昭和58年	
	理事	和 泉 秀 宣	昭和58年	

	役 職	氏 名	卒業年	備 考
広報委員会	理事	折 重 ゆかり	昭和59年	
	理事	黒 木 和 紀	平成1年	6名
名簿組織委員会	理事	吉 宗 八栄美	昭和49年	副委員長
	理事	七ツ河 克 重	昭和60年	
	理事	稲 田 嘉 明	昭和62年	
	理事	竹 保 俊 英	平成2年	
	理事	本 郷 龍 史	平成6年	副委員長
	理事	上 田 隆 紀	平成9年	6名
事業委員会	理事	玉 浦 洋 明	昭和49年	
	理事	仲 行 さとみ	昭和52年	
	理事	井 口 洋 司	昭和59年	副委員長
	理事	前 川 弘 樹	昭和61年	4名
※会長及び金廣副会長は、いずれの委員会にも属さない。 理事30名				
	監事	石 田 裕 靖	昭和50年	
	監事	坂 上 栄 樹	昭和56年	2名
監事2名				
	顧問	小 島 敏 文	昭和44年	

世羅ダイハツ
双葉自動車株式会社

〒722-1114
広島県世羅郡世羅町東神崎368-4
TEL 0847-22-0777 FAX 0847-22-0760

出光興産株式会社販売店

ideimitsu

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

■本社

■セルフステーション世羅バイパス

■セルフステーション三原中之町

■セルフステーション東尾通

■宮浦SS

■吉舎SS

■世羅油槽所

□株式会社やっさ石油

□宮浦SS

□沼田東SS

☎(0847)22-2121

☎(0847)22-1151

☎(0848)63-6677

☎(0848)56-1668

☎(0848)67-7111

☎(0824)43-2272

☎(0847)22-1136

☎(0848)63-8216

☎(0848)63-7733

☎(0848)66-2727

Topics

9月初旬、学校の先生5人と本部役員10人でコロナ禍以来久々に懇親会の会を設けました。
今春の人事異動により、佐藤教頭と森信事務長を迎えて全員が自己紹介を兼ねたスピーチをされました。世羅高創立130周年のことも話題になりました。令和8年に世羅高校創立130周年を迎えるため、実行委員会の立上げが急務となります。

世羅高交流会・同窓会総会・懇親会報告

世羅高との交流会・同窓会総会・会員懇親会が、会員160余名の参加を得て開催されました。昭和57年卒業の同窓会員が当番幹事を務めました。世羅高軽音楽部の生徒によるWelcome演奏が始まる中、続々と参加者が集まり、世羅高生徒の発表を合わせると200名を超える盛大な集いになりました。

■ 第1部 交流会 (10:00～11:10)

1 吹奏楽演奏・2 ダンス同好会発表・3 世羅高生徒による各科のプレゼン発表「世羅高からのプレゼン提案・発表」

- 学校長からの現状報告
- 農業経営科の取組み報告
- 生活福祉科による「介護技術コンテスト報告」
- 普通科報告「世羅高における国際交流」
- 陸上競技部報告

世羅高の発表や提案は、県内のみならず全国へ発信するものが多く世羅高の積極性と生徒の意気込みを十分に感じるものでした。

■ 第2部 「総会」 (11:10～12:00)

議事

- 議第1号 令和5年度同窓会 事業報告の承認について
- 議第2号 令和5年度同窓会 一般会計決算報告の承認について
- 議第3号 令和6年度同窓会理事・監事の選任
- 報告1号 令和6年度同窓会 事業計画について
- 報告2号 令和6年度同窓会 一般会計予算について
- 報告3号 創立130周年記念行事について

議事は、参加会員の賛成多数により、すべて可決され、承認されました。

■ 第3部 懇親会 (12:00～14:00)

- 1 開会あいさつ 当番幹事 幹事長 新井 栄樹 (昭和57年卒)
- 2 支部活動報告 東京校友会 会長 吉宮 孝治 様 (昭和42年卒)
近畿同窓会 会長 釣井 良明 様 (昭和42年卒)
広島校友会 会長 脇坂 徳男 様 (昭和45年卒)
- 3 乾杯
- 4 コウノトリと世羅の自然 せら夢公園サポーターズクラブ 中島 秀也 会長
- 5 お楽しみ抽選会
- 6 次年度当番幹事の紹介とあいさつ (昭和48年卒による)
- 7 校歌斉唱
- 8 閉会のあいさつ 当番幹事 伊藤 広志 事務局長 (昭和57年卒)

“当番幹事のみなさんに感謝!!”

世羅高同窓会にとっては、年に一度のビッグイベントである世羅高交流会と総会・懇親会でしたが、当番幹事による手作りのこの会は準備の段階から何度も会合を持たれ、卒業以来久しぶりに同級生に声をかけ、準備を重ねるごとに幹事の数が増えていったそうです。また、都市部の高校とは違い、すべてが当番幹事による運営ですからそれはそれはご苦労も多かったと思います。久しぶりに友と語らい、汗を流す中で還暦の年から仲間との絆も深まっていくのでしょうか。幹事の皆様、ありがとうございました。本当にご苦労様でした。



新入会員代表あいさつ

令和6年3月に卒業し、新しく世羅高同窓会会員になった新入会員を代表して、古川 歩希さんから挨拶があり、今の気持ちを真剣にとらえ素直に述べられ、今後の誓いを聞くことができました。頼もしい新入会員の入会で私たちが大いに勇気づけられました。



貸切バス・タクシー・旅行業

世羅交通(有)

世羅町東神崎91

- タクシー (0847) 22-5588
- 貸切バス (0847) 22-0477

車検・整備全般・钣金塗装・販売・ロードサービス・損害保険代理店



アラタニオート
検索の

58th Anniversary
ARATANI AUTO

お得なレンタカープラン豊富に取り扱ってます! ☆

アラタニオート株式会社 広島県世羅郡世羅町東神崎377-1
営業時間 ▶ 8:30～18:30
TEL 0847-22-0279 富お気軽に問い合わせください



クラス会報告



12年ぶりの再会を終えて

平成14年度卒業生 島津 慧

2012年に同窓会を開いて以来、本年1月2日に全6組中38名参加の中12年ぶりの同窓会を開催しました。

2019年12月初旬に中国は武漢で発生した新型コロナウイルスの影響により、ちょうど10年目にあたる2022年は同窓会のことも日々の忙しさにかまけてすっかり忘れていました。開催3か月前に一人の友人が「年明けに同窓会をしよう!」と声を上げてくれ、各クラスの幹事を選びLINEで繋がっている同級生に声かけが始まり、連絡の取りようがない同級生には書面や実家への電話連絡等で出欠を取りまとめていきました。その間、当日の受付・司会等の配役や、全体の流れと余興を数人の幹事が連絡を取り合い楽しいものへと練り上げてくれました。



当日を迎え、幹事の人々が練ってくれた様々な仕掛けによって12年の壁は徐々になくなっていきました。受付でもらった笑顔とメッセージカード、プロジェクターに映る懐かしい映像、当時聴いていた音楽、それから世羅町や世羅高に関するクイズ…。久々の再会にこぼっていたみんなの顔も、次第に当時の懐かしい顔に戻っていくようでした。みんな顔も身体も40代の中年ですが、同級生って本当に不思議です。最後は10年後の第3回同窓会の約束を笑顔で交わし、それぞれの日常へ戻っていきました。

2か月しかない短い時間で楽しいひと時をつくってくれた幹事の皆さん、心よりお礼申し上げます。また会いましょう。



世羅高校時代の思い出

昭和28年卒
高谷 信也

卒寿を目前に世羅高校時代に思いを寄せ、青春が蘇ります。祖父母に育てられ、世羅高校の入学式に12キロ余りの道を歩いて出席した時の事が鮮明に浮かぶのです。遠い道のりを運れてはいけないう一生懸命歩き辿り着いて校門の前に立っていたら、守衛さんが門扉をガラガラッと開けられた時のことを…。

高校で見る事柄全てが驚きと感動でした。学習中に階段教室の後ろから床下に友と隠れ授業をサボった時のことも今では懐かしい思い出です。教科ごとに代わる先生の授業が大変楽しくて、学ぶことが好きになりました。経済面で恵まれない我が家では自転車を買えず、世羅郡内の親戚を転々としながら1年半余り親戚から通学し、やがて心許せる友との出会いが心強く楽しかった事を思い起こすのです。そうしているうちに、中古の自転車を買ってもらい、残り1年半は舗装のないガタガタ道に自転車のパンクなど苦労した事も今となっては楽しい思い出の一つです。クラブ活動、学園祭等、挑戦し、楽しい経験をえました。読みたい本が買えず、友人に借りたり、何冊も頂いたり、助けられたこと等、今でも忘れません。甲山の書店時には遅くまで立ち読みした事も思い出です。

「辛抱の木に金が成る」と祖父の教で高校卒業時に、三か年間、無遅刻、無欠席の皆勤賞を頂き、今でも「賞 世羅高等学校」と書かれた硯箱を大切に保管しております。世羅高校で身につけた学力で大学に進み、半生の教師生活を送り、時々安否確認を兼ねて訪ねて来てくれる教え子たちが私の人生の宝であり財産となりました。

教師生活の途中で体調を壊し、身体に障害を残すようになりましたが、日々「生かされている」と感謝の気持ちで過ごしています。母校「世羅高等学校」「駅伝世羅高等学校」を誇りに持ちながら…。



世羅高校の誇り 『駅伝・世羅の思い出』

昭和34年卒
松田 昌紀

母校、世羅高校は第1・2回の全国大会で連続優勝したことは皆さんにもよく知られています。

これは昭和30年、私が中学校3年生で初めて全国高校駅伝と出会った、もう70年前の思

同窓生だより

い出です。当時は大阪中之島・毎日新聞社前から高石町（現高石市）折り返しのコースで行われました。1区10キロは、私と同じ神田中学出身の金行秀則さんと、岩手・福岡高校の1年生南館正行さんとの激走でした。

終盤近くまで独走の南館選手を中継所直前で猛然と追いつけたのは痛快でした。解説の村社講平さんがとても世羅高びいきの話をされ、それがとても印象に残っています。

レースは結局最後まで1位の兵庫・飾磨工業高校を世羅が追う形で、世羅高校は大健闘の2位だったと記憶しています。

余談ですが、私の世羅高在学中に、南館さんは大学の先輩である金行さんの案内で、長距離の名ランナー横溝三郎さんと一緒に世羅高にも来られたことがあります。

以後かなりの低迷の時期を経て、名将・新畑先生や岩本先生を監督に迎え、全国屈指の「駅伝王国・世羅」を築いたことはあまりにもよく知られており、私たちのこの上ない誇りです。

人口も決して多くない田舎の高校で全国一の優勝回数を記録している事実は、極めて偉大な成果だと思います。よく「地域を挙げて」という言われ方をしていますが、実際は言葉に言い尽くせぬ郷土挙げての、隠れた取り組みの賜物だと思います。

留学生区間の問題など、徐々に困難な環境へと変化しつつある現状ですが、何としてでも「駅伝の伝統」を守り育てたい、これはおそらく皆様全員の願いだと思います。

選手諸君のご健闘を心からお祈りします。



『備後神楽』の 継承に携わって

昭和45年卒
平垣内 隆

今回の同窓会会報への寄稿を依頼され、久しぶりに卒業アルバムを出してみました。みんな元気であるかな、顔も姿もずいぶん変わっただろうな、懐かしい顔、顔。あつ運動会の組体操で前代未聞、人間タワーの最上部で倒立を成功させた彼、亡くなったんだよ…。アルバムを見ている自分はこの当時へそのままタイムスリップ。同じ時代を生きた者同士、懐かしさも切なさも。改めて同級生に感謝の出来た時間でした。

卒業から、あつという間の54年。生まれ育った地元で就職し、一度も離れたことがない。おかげで、地元に残る神楽と出会うことが出来ました。

地域の若者10数名に声がかかり、神楽保存会が誕生しました。その年の秋祭りには、舞いを奉納するというもので約2カ月、連日連夜の猛稽古を思い出します。

この地域の神楽は、備後神楽と称され、純然たる広島県の神楽と言われます。足の運び、身体の内ねり、腕の振りや手の使い、神楽唄も太鼓のリズムも音符の無い中、耳で聴いて声に出す、音にする、の繰り返し、やればやる程難しくなる。

それでも半世紀以上続けて来られたのは、関係の方々のご支援があつてこそ。また、舞い終わりの拍手にも支えられていると感謝です。そして、健康第一。

終わりにになりましたが、世羅高校、そして同窓会の益々のご発展をお祈りいたします。



心に刻まれた 試合

昭和53年卒
新谷 朝夫

46年前に卒業、広島銀行へ入り、10年前から世羅町社会福祉協議会へ勤務しています。前職の甲山支店在籍中は、多くの先輩方、同窓生の方にも大変お世話になり、感謝申し上げます。また現在も住民の方にお世話になり、ありがとうございます。

入学後、昭和26年創部の野球部に入り、1年時は、夏の大会でベスト16。翌年、春の尾三地区大会は、1回戦、2回戦を1点差で勝ち、準決勝で尾道商業との対戦となりました。当時の尾商は、その夏に準優勝。優勝は、最強の崇徳高校でした。世羅高校は、3年生3人、2年生8人、計11人の普通のチーム。強豪に勝つて見込みもありませんでした。

ところが試合前、「鬼」の岡田監督（担任でした）が「仏」に変貌されたのです。

いつも監督が気合を入れてスタートするの、この時は冷静に語り始められたのです。「相手は、間違えなく強い。簡単に対戦させてもらえない。こんなチャンスは滅多にない。勝ち負けでなく勉強させてもらおう。」と。その言葉に選手全員気が楽になり、体の奥底からパワーが湧き出て、生き生きと試合に臨みました。

相手の4番、捕手の浜本選手は、翌年、クラウンライターライオンズに3位指名された選手です。1位は、あの江川投手でした。後、西武ライオンズになり、伊東捕手に続く2番手捕手にもなった選手です。第1打席、三原高校の3塁ファウルゾーンの外にある体育館を超える100m以上の大飛球を打たれ、我々は驚嘆し外野手3人がフェンスの前で守り、外野フライで全打席アウトにしました。他の選手も外野フライを打ち上げてのアウトが多い試合でした。

序盤で2点先制。追加点もタイムリーヒットで1点ずつ奪い、5回までに4対0とリードしました。その時、監督が「相手は強豪だ。その内追いつかれるが、慌てなくていい。」と指示され、8回にはとうとう追いつかれましたが、誰も慌てませんでした。

延長10回、先攻だった我々は、先頭が出塁、2番の自分がこの試合3度目の送りバント成功。4番、5番の連続タイムリーヒットで勝ち越し、6対4で勝利。相手の攻撃で思わぬ事も起こりました。序盤リードした時、無死走者1塁で次打者の強い打球をワンバンで投手が弾き、内野手が捕球。直接捕られたと勘違いした走者は、慌てて2塁から1塁へ逆走しアウトに。驚きと同時にホッとしました。漫画「ドカベン」に出て来そうなプレーでした。全ての流れは、我々に来ていました。

力を使い果たした直後の決勝戦は、4番が南海ホークスにドラフト3位入団した竹原高校に1対5で敗れましたが、「強豪尾崎に勝った試合」は、いつまでも心に刻まれています。また、ユニホームの胸マークが漢字の「世羅高校」を付けた最後の試合でもあったので、余計に忘れられません。この試合の後、監督の采配が変わったのは、言うまでもありません。

翌日、学校へ行くと同級生の皆が「信じられん。嘘じゃろ。」と言い、一瞬だけ注目を集めました。

私は、小学生のコーチをした時に、この時と全く同じように、準決勝で3度強豪に勝ちましたが、決勝で敗れました。この時と同じ気持ちで戦ったと思います。

チームは夏、故障者も出て初戦で県立広島工業にコールド負け。3年時は、初戦で現在の国際学院に勝ちましたが三原高校に敗れ、ベスト32で終了しました。

その3年後、後輩たちが夏の大会、強豪瀬戸内高校に尾崎戦と同じく6対4で勝ちました。

世羅高校野球部、夏の大会の歴史は、昭和34年、準々決勝で広陵に敗れ、昭和45年、準々決勝で尾道商業に敗れ、ベスト8が2回。その後、ベスト16が2回。

最近では生徒数の減少、部員の減少もあり、合同チームになることもあります。選手たちは、楽しく頑張っていると感じます。

現在、野球部後援会の会長をしています。野球部OB、OGの方、同窓生の方、住民の方には、大変お世話になっております。後援会も存続が厳しい状況ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

卒業後、息子の在籍時に野球部を、娘の在籍時にソフトボールを応援し、現在も野球部、陸上部の応援には行っています。

これからも母校世羅高等学校の発展と同窓の皆様方のご活躍とご健勝を祈念いたします。



「塞翁が馬」の半生

昭和54年卒
栗根 一弘

私が入学した年は普通科が4クラス。特に将来何になりたいとも考えないままだった

う間の3年間であった。好きな科目は理数系だったが得意なのはどちらかというと文系。我々の年から始まった共通一次の結果はボロボロ。進路指導では浪人して頑張れと言われたが既に得ていた特別奨学生の資格は失いたくない。夏に肝試しのつもりで受験していた郵政Bもたまたま合格していたので「ならば両方を」というわけで広島大学法学部（夜間部）を受験。こうして5年間の勤労学生生活が始まった。

その後、職場はゆうちょ銀行となり40年間勤めたが父の他界を機に早期退職。郷土に帰って米作りでもしながら…と考えていたが退職日の翌日に骨折で世羅中央病院に2ヶ月入院。半年後、地元の農協に再就職したら与えられた業務が世羅中央病院への派出。職場環境にも恵まれ、並行してスポーツ推進委員や自治会の役員も頼まれるまま4年も経ったところ自治センターへの勤務の話が舞い込んだ。荷が重すぎると再三お断りしたが前任者からの強い勧めもあり根負けした形だ。

今、地方の人口は減り少子高齢化が加速している。自治会の役員のなり手がいない、さらには自治会そのものにも加入しないという人まで。自治会の運営は厳しい環境だが、同じ地域に暮らす者同士の助け合い「協働」はより一層求められている。自分がその一助になれるならば、と今日も自治センターに出勤している。



令和8年、母校は創立130周年を迎えます

昭和54年卒
堺 秀裕

私は、世羅高校で昭和51年から3年間、学ばせていただきました。部活動では、硬式野球部に所属し、高校3年の夏の大会まで野球に熱中しました。身長が高いというだけでピッチャーをやらせていただいたのですが、指導者の方から「君は体力が無いから体力をつけるように」と言われ、それから毎日、家から学校までの往復をランニングで通うこととしました。また、学校へ早く行って、野球部の同級生と毎朝ティーバッティングを始めました。そのことが、体力向上や打撃力の向上に繋がって自信となりました。今に思えば、その経験によって、自己肯定感も高まったように思えます。当時は、運動能力も体力も非常に低かったのも、努力するしかなかったのだと思います。小・中学校ではほとんど目立たなかった自分を変える高校生活でありました。

卒業後は、広島県教育委員会に採用され、県立学校の事務職員に配属になりました。それから、教育事務所や県立高校で勤務した後、49歳から60歳の定年までの11年間、高校の事務長を務めさせていただきました。定年退職後は、非常勤の職員として母校に勤務させていただいております。世羅の地に感謝し、貢献すべく、いま精一杯、子どもたちと関わり、そして様々に還元したいと思っています。

今は、同窓会役員として令和4年度から理事を務めさせていただき、令和6年度から130周年記念担当の副会長をさせていただくこととなりました。今までの経験を同窓会活動や130周年記念事業の成功に活かしていきたいと思います。



いこる所に人は集まる！

昭和57年卒
伊藤 広志

「こんな何もない空間に、カーベットを敷き、机や料理を運び込み、中身もプロデュースするなんて、今時こんなことするの？」3月、総会の引継ぎ会で抱いた率直な感想です。しかし、世羅を40年以上外から見ている、「人口・生徒数が激減する中、世羅や世羅高校の誇れることを多くの人と共有し、発信したい！」という思いに駆られ、まずは6名で集い、過去の詳細なデータを頼りに、今年度の原型を創っていきました。

5月、仲間に呼びかけるとすぐに20名ほどが集まってくれ、「行ける時は限られるけど、何でもやるから」と心強い言葉を返してくれました。それ以降、ポスター貼り、チケット販売などの準備、当日の運営…とやるべきことは限りなくありましたが、仲間の輪はどんどん拡がり、自分から行動を起こしてくれ、和気あいあいと素敵な時間を送ることができました。

極めつけは当日の朝で、参加できない仲間が、各テーブルの手作り花瓶に飾るあじさいの花を大量に持って来てくれ、こうして私たちの思いを結集させた世界一誇れる会場が出来上がりました。

当日の主役は世羅高の後輩たちです。皆が皆、日ごろ地道に取り組んでいることに自信を持ち、しっかりと「前」を見据えた堂々たるプレゼンやスピーチ、パフォーマンスを披露してくれ、観る者聴く者すべての人の心に熱い炎を灯してくれました。

懇親会では、恩師である中島先生が、高校生に負けぬ情熱で世羅の自然やコウノトリについて語って下さり、参加者一同、世羅への誇りと愛着で心を満たすことができました。さらに会場後方には、陸上部保護者会の方々が「コロナ禍が明け、これからは日々並々ならぬ努力を重ねている全員を全保護者で応援するんだ！」と新規開発された応援グッズの数々を持って販売に駆けつけて下さいました。

このように200名を超える方々が結集できた今年度の総会でしたが、すべてのことを通して確信したことが2つあります。1つは、「AIがいくら進歩し幅を利かせようと、人が幸せを感じられるのは、人と人とのつながりとそれを包み込む自然があってこそ」。もう1つは、「それらがまだ残っている世羅は、小さな力でも結集しさえすれば、人が心を輝かせ、真に豊かに生きていける空間を創出できる」ということです。幸い母校には、3つの素敵な学科があります。先生方、生徒の皆さんは「これでもか!」というくらい地

本がいっぱい

ブック
センター

アオイ 甲山店

店舗 〒722-1122 世羅郡世羅町小世良396-1
TEL (0847) 22-3883
FAX (0847) 22-2732

土木工事業(広島県知事許可般-12444号)
りゅうおう床土製造(全農指定)

有限会社 龍王

〒722-1626 広島県世羅郡世羅町大字賀茂 1024
TEL.0847-27-1231 FAX.0847-27-1232
e-mail:r-ryuou@mail.mcat.ne.jp

域に向き、繋がりを創られ、発信されています。今県下で最も「いこっている」高校ではないかと感じます。我々同窓生もその「いこり」に乗り、「萌える生命」を完全燃焼させていきたいと思っています。

「地域づくり」に携わって

昭和59年卒 夏見 昭子

長年、世羅町の保健師として、健康なまちづくりの推進に携わってきましたが、その後、要介護の親を見守りながら、西大田自治センターに勤務させていただくようになって、早3年が過ぎました。

当初はコロナ禍で行事も少なく、1年目は「安心・安全な地域づくりアンケート調査」によって、小学生から高齢の方まで地域の皆さんの様々な声をお聴きする年となりました。この調査結果をどのように今後の地域づくりに反映させるかを検討するため、2年目には、「新しい西大田を語る会」（通称「語る会」）を立ち上げました。スポーツ協会や子ども会育成会等の様々な立場の各年代の皆さんが、2年間で計10回のグループワークに参加してくださいました。その結果、たくさん出されたアイデアを振興会連絡協議会等に提案し、色々な工夫を試みながら行事に取り組むことで、地域の皆様から好評価を得ることができています。また、語る会のメンバーからも「出た意見を取り入れながら活動を変えて行く成功体験を得ることができ、語る会の成果は十分ある」、「ルールを守って自由に意見を言える場として、この会は必要」などの声が出され、今後も引き続き、色々な角度からの「語る会」を予定しています。これまでのところ「西大田」について語る内向きの議論となっていますが、移住された方などの声も大事にしながら、地域の外に向けた発信もできるようにと模索しているところです。

世羅高校でも「世羅町を元気にするための探究活動」に取り組まれているとのことで、今後は「語る会」に、世羅高生にも入っていただきたいと思っています。「地域の元気づくり」に、ぜひ、お力添えください。

ライブ後の大須賀ひできさんと（西大田自治センターにて）



世羅高スピリット～校訓「文武不岐」

昭和60年卒
山崎 誠

今期、世羅高校同窓会理事に選任されました山崎誠です。

1985年（昭和60年）に卒業して40年経とうとしています。若かりし頃は、自身の仕事

や日常に追われ、世羅高校同窓会に対して関心は低かったと思います。この年になると高校時代の友のことが気になり、何か繋がってほしいと思うようにもなりました。

近頃テレビでは、昭和のとりわけ80年代の流行したものの等を取り上げていて、ついつい懐かしく見入ってしまいます。

最近の世羅高校生については、広島市内の平和大通りで蜂蜜を採取して販売したり、高齢者を対象としたスマホの使い方相談会を行ったりしていることが話題になっています。自分たちが世羅高生であった時の学校生活と比較して、なんと素晴らしい取組みだろうと感心しています。

同窓会役員になって気が付いたことは、世羅高校の校訓は「文武不岐」であったこと。校訓を意識したことはありませんが、卒業して何年も経って改めて意味を調べてみました。「文武不岐」と、よく見聞きする「文武両道」とは意味合いが異なるようで、「文武両道」は、「文」と「武」それぞれ別の道だけれども努力することですが、「文武不岐」は、勉強も運動も別の道ではなく、大切だということを表しているそうです。例えば、部活を真剣に取り組むことができれば、将来他の分野でも向上できるということのようです。

在校生の姿や、各分野で活躍されている卒業生には、この校訓にある世羅高スピリッツが根付いていると思います。次代へと繋いでいきましょう。

約2年半後には同窓会当番幹事の年になります。この同窓会報を読んでいる同級生の皆さんよろしく願います。



生活福祉科でついた力をもとに

令和6年卒
川本 由衣

私は県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科作業療法学コースを学校推薦型選抜で受験し、合格することができました。生活福祉科での専門的で多様な学習を通してコミュニケーション能力が身についたことと、生活福祉科でしかできない貴重な経験が志望校合格に繋がったと思います。福祉類型では、実際の現場で介護実習を経験し、自らが考えたレクリエーションの実施や利用者様と関わることで幅広いコミュニケーション能力をつけることができました。このような介護実習での学びは私の目指す作業療法学コースの学びに近く、面接材料となる経験やエピソードを十分に得ることができました。また、高齢者向けスマホ相談会、障害者施設や社会福祉協議会のお祭りなど、様々なボランティアに参加したことも出願書類や面接、小論文に活用でき、私のアピールポイントになりました。さらに、高校生介護技術コンテストに出場し、最優秀賞を受賞した経験や介護実習報告会での発表など、他者に伝える学習活動をたくさん経験したことで「話す力」が身に付き、サービス接遇検定で面接の所作や社会で通用する

マナーを学ぶことで面接技術も高めていくことができました。生活福祉科での学びは、受験のみならず、自信をもって社会に出ていける力をつけることができたと感じています。高校で身に付けた力を発揮しながら、大学でも意欲的に学び、クライアントの希望を叶えられる作業療法士を目指して頑張っていきたいと思っています。



広島平和ミツバチプロジェクト

令和6年卒
北原 成

農業経営科で過ごした3年間を通して、多くの大会や発表会に出場し、他校と交流授業をすることでたくさんの知識や技術を身に付けることができました。

特に、広島平和ミツバチプロジェクトのリーダーとして研究を行うことで学んだことを活かすことができました。平和大通り沿いで都市養蜂にチャレンジしたいが本当に蜂蜜はとれるのか実験してほしいと依頼を受けました。高校では梨の受粉交配の手伝いとしてミツバチ飼育を行っています。学んだことを活かしたいと協力することになりました。

日本全国で行われている都市養蜂は、巣箱を屋上やベランダなど人の生活環境と離れた場所で行っています。しかし、広島では条件が合うビルがなく、駐車場である地上で行うことになりました。ミツバチは、外敵から身を守るために毒針を持っています。刺すと内臓ごと抜け、死ぬため攻撃的ではありませんがミツバチのことを知らない人にとっては脅威です。そのため、通行する方から見えにくいように車1台分のスペースに高さ3メートルの囲いを作りました。

広島平和大通りにはたくさんの樹木があり、採蜜を行うことができました。10枚の巣枠から15キログラムのハチミツが採取できました。地域の方に試食していただき、だれもが笑顔になるおいしさでした。

広島市内を会場に先進7カ国首脳会議、広島サミットが行われました。国際メディアセンターでは、広島県の特産品を展示することになり広島平和ミツバチプロジェクトの蜂蜜も選ばれ、出品することができました。広島市内で採取した蜂蜜として、世界へ発信することができました。

毎週、飼育管理と採蜜を行い、100キログラムの蜂蜜を採取することができました。「広島市内でほんとうに蜂蜜がとれるのか」という依頼にはしっかり応えることができました。高校の学びを活かし、地域貢献につながる活動になりました。

現在は農業高校の先生になりたいという夢の実現に向けて、地元の大学で地域農業の活性化や農業の6次産業化について学んでいます。3年間、農業経営科で汗を流し、たくさんの貴重な体験ができたことが、私の誇りです。

畳で造る癒やしの空間と
和の心・家を守るシロアリ消毒



株式会社
もみの木畳店

〒722-1122 世羅郡世羅町小世良380
TEL:0847-22-1426 FAX:0847-22-1893
E-mail:momi1426@plum.ocn.ne.jp



一果一果 丹精込めて
世羅幸水農園
SERA KOSUI FARM

世羅町本郷365-20
TEL(0847)22-2219 FAX(0847)22-2203
<http://www.sera-kousui.jp>

Topics

野々部いろかさん（令和5年卒）が全国の理容・美容学生の技術向上を目指して行われる第16回全国理容美容学生技術大会（愛称：理美容甲子園）に大阪府代表として出場します。大会は10月31日に大阪市内にある「Asueアリーナ大阪」で全国11地区の予選を勝ち抜いた理容・美容学校で技術を習得中の学生の代表によって行われます。今年度は全国約210校、約2000人が参加した各地区予選会（全8部門）を経て、本大会が行われます。世羅高校の紹介動画にある「なりたい自分になるために」と美容師の道を志して2年目で大阪府の代表（アートネイル部門）となり、これからも「夢に向かって」進んでもらいたいものです。

第44回日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会「プロジェクト発表会」・「意見発表会」結果

農業クラブの正式名称は「日本学校農業クラブ連盟」といい、別名を「FFJ」と呼ばれています。「FFJ」とは、「Future Farmers of Japan」の頭文字をとったもので、明日の日本の農業経営者や農業に関連した産業を担う者を意味します。「FFJ」には、全国の農業課程に属する高校生約9万人が所属しており、本校の農業経営科の3学年全ての生徒も所属しています。

農業クラブでは、各校が位置する地域の活動から、全国での活動まで幅広く行われており、本校農業クラブでは、地域の諸問題を解決するための研究をはじめ、日頃の学習成果を競い合う大会にも積極的に出場し、7月18日せら文化センターで行われた広島県プロジェクト発表会・意見発表大会で、4部門において最優秀賞を受賞することができました。また、出場したすべての発表が優秀賞を受賞しました。最優秀賞受賞者は、8月9日に広島市で開催される「日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会」に広島県の代表として出場することが決定しました。

8月9日(金)、広島市東区民文化センターにて第44回日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会「プロジェクト発表会」・「意見発表会」が行われました。意見発表会のⅢ類では2年1組中谷龍人が最優秀賞を受賞し、10月23.24日(水.木)に岩手県で行われる全国大会に出場します。また、広島県の代表として農業鑑定競技会の全国大会に2年1組早川拓真(分野果樹)と2年1組角田貴広(分野野菜)が出場します。

今後も「世羅高校」の名を轟かせることができるよう日々精進するとともに、地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。

プロジェクト発表会		
Ⅱ類 【優秀賞】	絶滅危惧種ヒョウモンモドキの保護プロジェクト ～有機農業を目指して～	神垣 青杜・黒木 暖叶 (3年1組) 藤井 廉也 (2年1組)
Ⅲ類 【優秀賞】	広島平和ミツバチプロジェクト ～平和都市広島を都市養蜂で守り、次世代へ～	坂村 拓実・作田 彪 古川 桜治 (3年1組)
意見発表会		
Ⅱ類 【優秀賞】	「ヒョウモンモドキと共に地域農業を守る」	倉田 旬(2年1組)
Ⅲ類 【最優秀賞】	「平和都市広島を都市養蜂で守り、次世代へ」	中谷 龍人(2年1組)



2023年度 第3回 実用英語技能検定 準1級合格 普通科2年 淀川碧及君

令和6年2月に実施された第3回実用英語技能検定で、普通科2年の淀川 碧及(よどかわ あおい)君(世羅西中学校出身)が準1級に合格しました。英検協会のHPによると、「準1級は、最終目標である1級の手前まで着実に力を付けているレベルで、およそ大学中級程度とされています。社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用できることが求められます。入試活用や単位認定はもちろん、教員採用試験に優遇されたり、海外留学にも多方面で幅広く適用されたりする資格です。」と示されています。

夏休みから英作文や面接の練習を積み重ね、努力した成果を存分に発揮したことが結果につながりました。在学中での英検準1級取得は、本校において3人目、今年度は3年生の久米楽人君に次いで2人目となります。

世羅高校では、今後も英語検定の取得者をより多く輩出できるよう、指導に取り組んでいきます。



私は今回が2回目の挑戦でした。一発合格で行ってやろうという思いを掲げたけれど合格できなかった前回の失敗をバネに一生懸命努力をしました。前回得点が低かったリスニングができるようになるため、毎日リスニング過去問や教科書のシャドーイングをして着々と力をつけていきました。一次試験を合格した時の嬉しさは計り知れないものでした。

二次試験の練習では、過去問やYouTubeの動画を見て毎日練習をしました。また、先生には、早朝や昼休憩、放課後の部活前などを利用して、毎日指導していただきました。思うようにいかないことが続いたけれど、そんなこともあると毎日切り替えてポジティブに練習に向き合っていたことが大事なことだと思います。

つきっきりで指導してくださった淀川先生、受験料を払ってくれた家族、「碧及ならきっとできるよ」と応援してくれた周りの友達、みなさんのおかげでこの結果があると思います。ありがとうございました。次の私の目標は志望校合格です。これからも絶えず努力を重ねて、夢を掴み取ります!

(淀川 碧及)

いつでもお電話でお気軽に
建設業
(有)坂上建設
TEL 23-0231 (代)
FAX 23-0232
【夜間】23-0511
世羅町宇津戸3453-1

社会福祉法人
みつば会
〒722-1111 広島県世羅郡世羅町寺町1568番地2
TEL 0847-22-2715 FAX 0847-22-4131



ダイソー女子駅伝部は、5年前に創部の比較的新しいチームです。全国高校駅伝大会(京都)にて、世羅高校の男女チームを優勝に導かれた岩本監督が、この新しいダイソーの監督に就任されています。年末の実業団女子駅伝にも出場し、着実に実力をつけていってられます。世羅高陸上競技部出身の指導者に、世羅高陸上OGの選手たちの活躍に心が弾みます。

農業経営科の2名が海外研修へ行ってきました！



JRA 次世代の養蜂人材育成のための研修事業

私は次世代の養蜂人材育成のための研修事業に参加し、モンゴルに10日間行きました。モンゴルに着くと草原の匂いがし、テレビで見えるような草原が一面に広がっていました。研修では、養蜂場に行き、モンゴルでの飼育方法を見学しました。また、遊牧民の方々のところへ訪問し、なかなか入れないゲルに入り、生活の様子を体験できました。

さらに、乗馬などモンゴルでの貴重な体験をこれからの人生に活かしていきたいです。
(2年 中谷 龍人)



令和6年度日本中央競馬会 畜産振興事業畜産ティーン育成プロジェクト事業

オーストラリア研修では、普段の生活ではできないようなことを次々と体験することができ、とても新鮮で楽しかったです。オーストラリアでは、日本では考えられないくらい広大な土地で酪農をしており、広い土地で暮らしている牛はとても健康そうに見えました。さらに、実際に畜産を行っている人の畜産福祉の考え方を知ることができました。

今後、私は畜産アンバサダーとして、多くの方に畜産の素晴らしさを広める畜産普及活動を頑張っていこうと思います！
(2年 白土 陽麻)



第21回広島県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテスト レシテーション(暗唱)部門 2・3年生の部 最優秀賞(1位) 今田えみりさん

令和6年9月14日(土)に広島市で実施された上記の大会で、本校3年生 今田えみりさん(甲山中出身)が、広島県で1位にあたる最優秀賞を獲得しました。ヘレンケラーの自叙伝である“The story of my life”の教科書にある英文を要約し、イントネーションやジェスチャーをつけながら、聞き手を感動させることができるように、練習を重ねてきました。

物を触ることで単語の意味を理解していたヘレンでしたが、「愛」とか「考える」などの抽象概念は手で触ることができないため、それを理解するためサリバン先生と葛藤の日々が続きます。レシテーションの練習では、それが理解する前と理解できた時の気持ちを、ヘレンになりきって、アメリカ手話を用いながら表現力を付けていきました。その練習の成果が発揮され、今回の最優秀賞受賞となりました。

審査委員長を務められた広島工業大学 三熊祥文教授から、今田さんのパフォーマンスについて、「一言で言うとバランスの勝利でした。このカテゴリーで、発音とデリバリーの二つが両立していたのが今田さんのパフォーマンスだったと思います。非常に魅力的で、優勝にふさわしい演技でした。」とのコメントをいただきました。



表情豊かにレシテーションを行いました。



努力が実って、最優秀賞の喜びはひとしおでした。

昨年3位を受賞し、「今年こそは優勝する！」という思いから2ヶ月にわたる挑戦が始まりました。私は中学生の頃から英語暗唱に挑戦していました。今年は私にとって今まで全ての集大成でした。優勝したいという思いが強い分、上手くできないことが悔しくて涙を流しながら練習したこともありましたが、それでもこのコンテストを迎えて優勝することができたのは、応援してくれた家族、友達、先生、そして何よりご指導してくださった淀川先生のおかげです。本当に感謝しています。今後の目標は卒業までに英検準1級を取得することです！そして将来、国際社会で活躍できるウェディングプランナーになれるようにこれからも全力で英語の勉強に励んでいきたいと思っています。

進物の玉浦

☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567



〒722-1121
世羅郡世羅町西上原 612-2
営業時間 /AM8:00 ~ PM6:00



和菓子のあるところに美味しい笑顔あり

和菓子処



大手門

世羅郡世羅町小世良577 電話(0847)22-5143

Topics

広島校友会 HP にて、「世羅だより」なる記事(写真)を掲載していく予定だそうです。季節毎の「世羅」の美しい自然・植物・生き物などを紹介する記事を UP し、世羅の様子を会員の皆さんにも見、感じて頂き、和んで頂きたいと企画をしています。広島校友会は今、会員が100名近くになったとのこと、うれしい限りです。

全国高等学校家庭科技術検定 1 級



被服製作和服 1 級 (14 名受検)

ひとえ長着 (ゆかた) を製作し、ひとえ長着の知識と技術だけでなく、製作における思考力や制限時間内でやり遂げる段取り力を身に付けることができました。



保育 1 級 (6 名受検)

音楽・リズム、造形 (折り紙、描画、貼り絵、平面構成等)、言語 (素話) を手段とする表現技術や家庭看護の高度で専門的な技術内容を、将来の進路に役立てることを目指して頑張りました。



食物調理 1 級 (24 名受検)

献立作成の主題：15 歳妹の誕生日祝い
指定調理：ホワイトソースを使った調理
二色ゼリー
和風、洋風、中国風の供応食の献立作成及び調理をしました。



地域交流

生活経営類型 2 年生が世羅の旬の夏野菜を使い、レシピを考案しました。山中福田自治センターで地域の方と調理、試食をし、地域のつながりを感じる機会となりました。



献立

- ・蚩ライス
- ・山福サラ田

中学校マナー講座開催！

生活実務の授業の一環として、生活福祉科の 3 年生が中学校を訪れ、職場体験を控えた中学 2 年生を対象にマナー講座を実施しました。サービス接遇実務検定準 1 級の資格取得で身につけた知識と技術を活用し、生徒が主体となつて、スライド作成から発表まで行い、グループに分かれて中学生に実技指導を行いました。



3 連覇達成！ 令和 6 年度 広島県高校生介護技術コンテスト 祝最優秀賞受賞！

5 月 25 日に広島県立黒瀬高等学校で開催された「第 7 回広島県高校生介護技術コンテスト」に、生活福祉科福祉類型 3 年生の内海来晴さん・松木叶愛さん・生田姫愛さん (3 名とも世羅中出身) が出場しました。広島県内の福祉を学ぶ高校生と介護技術を競い、3 連覇に向けたプレッシャーの中でもしっかりと実力を出すことができ、見事「最優秀賞」に輝きました！世羅高校生活福祉科の福祉類型は、現在 3 年連続で最優秀賞を受賞し、中国地区介護技術コンテストへの出場を果たしています！更なる目標として 4 連覇を目指します。



ドノヴァン校短期留学 世羅高校生との交流多き 11 日間！

ニューヨークの姉妹校であるソーントン・ドノヴァン校の生徒 4 名が、6 月 18 日から 6 月 28 日の日程で世羅を訪れました。今回の交流のテーマは、「平和学習」です。4 名の留学生は実際に世羅高校の授業に参加するだけでなく、広島平和記念公園を世羅高校生と訪れ、事後学習での議論を通して平和への想いをデザインするなど、世羅高校生と共に学ぶ機会が多くありました！活動を通してお互いのことをもっと知るために、知っている英語で一生懸命コミュニケーションを取ろうとする世羅高校生の姿や、世羅高校でしか得られない学びに一生懸命取り組むドノヴァン校の生徒の姿が見られました。世羅高校生からは、「ドノヴァン校の生徒と話せて、異文化についてもっと学びたいと思いました。」や、「交流をきっかけに英語学習意欲が高まりました。」といった声を聞くことができました。また、ドノヴァン校の生徒からは、「たくさん新しい友達が出来て嬉しかった」との感想がありました。交流の様子から、「分かりあいたい人が目の前にいるからこそ、言語や文化の壁を越えて繋がることできる！」と改めて感じました。来年 3 月には世羅高校の有志がドノヴァン校を訪れる予定です。



手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会のご予約承ります
ファミリーレストラン
タイニー
TEL (0847) 22-0322
FAX (0847) 22-0405
http://www.fr-tiny.co.jp/
世羅郡世羅町西上原 483-3 (甲山ショッピングモール/パオ前)

ワイナリー・直売店・レストラン・夢高原市場 (産直市場)・ミニ SL・足湯館
せらワイナリー
Sera Winery
▼ワイン通販サイト ▼Instagram
世羅郡世羅町黒瀬 518 番地 1 電話：0847-25-4300
営業時間 / 9:00~17:00 定休日：火曜
※営業時間および定休日は季節により変動

Topics

世羅高出身選手が大活躍。 国内実業団のトップ選手らが実力を競う「全日本実業団対抗陸上競技選手権」が、9 月 21 日から 23 日まで山口県山口市で開催されました。男子 1500M では、HONDA の中野翔太選手が 3 分 41 秒で 1 位。女子 1500M ではタイソウのテレシア・ムッソーニ選手が 4 分 02 秒で 1 位。さらには、5000M で 15 分 06 秒でも 1 位と大活躍を見せました。世羅高で走り切った卒業生である 2 人の今後の成長を見守りたいと思います。

支部等活動報告

東京校友会 昭和42年卒 会長 吉宮 孝治



東京校友会は、会員相互の親睦及び母校との連絡により、その発展に寄与することを目的に昭和38年に創設されてから60年を越えて活動を続けておりますが、その主な事業は、年2回の会報発行、親睦会、総会及び役員会などとなっております。

会報「とうきょう世羅」は、4月に第58号を送し、10月に第59号を発行すべく現在鋭意編集作業中です。

親睦行事としては、本年早々に恒例の下谷七福神めぐり（台東区）を11名の参加を得て開催して1年の開運を祈り、3月23日には東京3名園として有名な六義園（文京区）において7名が参加して親睦会を催しました。

来年は、1月12日（日）に千寿七福神めぐり（足立区）を計画しておりますので、沢山のご参加をお待ちしております。

今年の総会は11月17日（日）に、松浦同窓会長、大島校長先生、奥田世羅町長など世羅から多くのご来賓をお迎えして、上野公園内の上野精養軒において開催の予定です。旧交を温め、世羅高や郷里の様子などを伺うことができる楽しい会になるように企画しておりますので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

陸上競技部の応援に関して、毎年12月に全国高校駅伝競走大会に東京校友会からも京都に行き、世羅の皆様と一緒に精一杯の声援を送っております。また、陸上競技部応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられております。母校の活躍は会員の誇りであり、その発展に些かなりともお役に立ちたいと願い、引き続き募集しております。

なお、東京校友会の情報はLINE、HP及びFBでも発信しており、世羅高校と世羅高同窓会にもリンクしておりますので是非ご覧ください。

近畿同窓会 昭和42年卒 会長 釣井 良明



世羅高等学校近畿同窓会は、コロナ禍から解放され、令和6年は顔を突き合わせる発言や討議が出来る形態で出来る様になりました。近畿同窓会独自の活動、年4～5回の役員・幹事会はもとより、年1回の総会も、新大阪ワシントンホテルプラザにおいて、去る6月30日、御来賓大島校長・松浦会長・町長代理山崎誠氏を招いて、各々の御話・情報を賜り、無事に終了しました。御出席の皆様のご協力もあり、予定しておりました

議題・報告事項についても御承認をいただくことができました。

今後の近畿同窓会を運営していくにあたって、いくつかの問題を抱えており、解決して行かなければならない検討課題を役員・幹事顔を突き合わせて審議していきたいと思っております。

2024年度、広島県人会への活動協力については、総会・懇親会「ふる里ふれあい祭り」も、去る2024年6月9日（日）、ホテルグランピア[名庭]にて来賓の方々を含めて180名強の参加者のもと開催されました。世羅町の来賓：金廣副町長はじめ、我世羅高からは釣井良明（会長）・川島利章（事務局長）、矢吹益造（相談役）が参加しました。

他団体との交流では、広島県関西同窓協議会（関同協）への事業運営への参画・協力、広島県人会への支援・協力をしてまいります。

本年度、県人会・関同協共催の『三原・尾道・世羅方面散策会巡り』への参加、広島味楽会への参加、県人会主催の『中国四国物産展』への支援、選抜高校野球甲子園（春・夏）出場校の応援等々、参画してまいります。これからは、同窓会会員共々参画したいと考えております。

昨年末の全国高校駅伝大会においては、広島県人会・広島県関西同窓協議会の面々が、『たけびしスタジアム京都』のスタンドに駆けつけていただき応援をいただきました。成績は期待に反しましたが、多くの方から慰めの声をかけていただきました。

令和6年は、近畿同窓会若手会員の勧誘活動を始め、情報交流・同窓会活動の活性化・機能拡大を図れる様願っております。近畿圏に在住の若いOBの方々の入会をお待ちしております。そして、母校の尚一層の発展をお祈りしております。



広島校友会 昭和45年卒 会長 脇坂 徳男



広島校友会も令和6年に入り、新体制でスタートを切りました。3月23日幹事会にて、事務局長の交代が決まりました。新事務局長は昭和49年卒の中間浩司さん、そして事務局長補佐として、同じく49年卒の岡田謙二さんが就任をされました。強烈なタッグマッチで、新たな目線で、色々な活動をリードして頂いております。

就任後、6月、7月と広島市内のカフェでランチミーティング（参加自由でランチを囲み、いろいろな活動）を企画提案して頂いて開催を致しました。

猛暑が続く中、8月25日（日）夕方、三越の屋上ビアガーデンで会員交流会を開催いたしました。22名の参加で、美味しいビールで喉を潤しながら、楽しい懇談のひと時を過ごしました。



そのような活動が後押しとなり、現在、会員数102名まで増えて参りました。県外に住んでいるが、広島市なら懇親会にも参加しやすいので入会された方も数名いらっしゃいます。発展途上の「広島校友会」ですが、ますます会員の増強に幹事一同取り組んでまいります。

なお、来年1月の総会・懇親会を「全国都道府県対抗男子駅伝」（2025年1月19日開催予定）の前日、1月18日土曜日に、広島駅新幹線口に近い「広島ガーデンパレス」にて開催の運びとなりました。そして、翌日、世羅高校選手の応援をしようということになっております。ぜひ、こそぞって参加をお願いいたします。

社会福祉法人 亀 甲 会

三原市久井町江木161番地1
☎0847-32-6050

事業所 特別養護老人ホーム亀甲園
養護老人ホーム亀甲園
亀甲園デイサービスセンター
亀甲園短期入所生活介護事業所
（ショートステイ）



(有) ふ ら た

広島県世羅郡世羅町賀茂 3297-1
TEL・FAX (0847) 27-0488

Topics

県内初！世羅高体育祭、夕方開催される 9/4（水）に行われたその名も「トワイライト体育祭」とにかく暑かった、猛暑続きも記録更新の今年の夏でした。世羅高は、県内の高校では初めてとなる体育祭の夕方開催をしました。大島校長先生は「オープニングで教職員の本気度を感じ、エンディングで感動。本当に素晴らしい体育祭でした。花火をセットし点火したのは、PTAの有志の方々。大人が本気に君たちを応援していること、感じたらいいな。」と言っておられます。生徒たちも保護者のみなさんも喜ばれたことでしょう。

お知らせ

Information

「同窓会会員名簿」の内容を充実するための現況調査を行います。

現在は、会員のプライバシー保護のため、名簿冊子の発行はしませんが、みなさんへの情報発信のため、住所管理を委託しているISO、プライバシーマークを取得している小野高速印刷(株)と同窓会本部で厳重に行います。(名簿組織委員会)



世羅高等学校創立130周年記念事業「実行委員会」開催へ



物語はなお続いていく…

広島県立世羅高等学校は、
2026 (令和8) 年に
創立**130**周年を迎えます

広島県立世羅高等学校同窓会

2026 (令和8) 年に迎える世羅高創立130周年に向けて始動します。

●実行委員会及び専門委員会 (記念誌 (DVD) 編集委・記念事業委・名簿委・記念式典、記念祝賀会委) の組織を始動させます。

(総務委員会)

「同窓会賛助金」にご協力を！

「世羅高等学校同窓会会報」は、今回26号を迎えます。全国の会員の皆様からの賛助金のお陰で、会報発行と個人宅に発送ができています。改めて皆様に厚く御礼申し上げます。

令和5年度「同窓会賛助金」報告

総数：611件

入金総額：1,310,048円

手数料等：54,351円

差引額：1,255,697円

令和4年度

総数：794件

入金総額：2,089,000円

手数料等：151,091円

差引額：1,937,909円

令和5年度は令和4年度と比べ、上記のように激減しています。今年度からは郵送料等も高騰しますが、今後も継続して会報発行するには、皆様からの賛助金が必要不可欠です。

今年度も会報と併せて、「同窓会賛助金」振込用紙を同封しています。事情をご理解いただき、ご理解とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

住所異動のご連絡にご協力ください！

同窓会では、会員皆様方の住所管理をISO、プライバシーマークを取得している小野高速印刷(株)に委託しております。この度、住所異動のご連絡を確実に、素早く、事務作業の負担減の為に、小野高速印刷(株)内にご連絡いただくこととなりました。住所異動をされた方は、下記方法にてご連絡くださいますようお願いいたします。

小野高速印刷 (株) 同窓会支援事業部
〒670-0933 兵庫県姫路市平野町62

フォームメール：

フォームメールはこちら▶

https://www.ohp.co.jp/ido_form

メール：meibo@dousou.info

TEL：079-281-8837 FAX：079-281-8839



「同窓生だより」コーナーへの投稿にご協力ください。

「同窓生だより」へは、全国の同窓会員の皆様からの声を掲載しています。(あの人は今どうしておられるのだろうか)、(元気でいられるのだろうか)と遠く離れた同級生に思いを巡らせていたところに、このコーナーに掲載されたことで、再度、同級生の集まりが始まったという声も聞きます。記事は、「世羅高時代の思い出」「世羅高・同窓会への思い」「卒業後の自分」…など、何でもOKです。

実は、毎年「同窓生だより」への記事募集には苦勞しています。普段から、皆さんの声が集まったらどんなにいいだろ

うと思います。そんな思いに応えてくださる同窓生の方、是非、声をおかけください。そして、記事をお送りください。

世羅高同窓会広報委員会委員長：寺田宣文宛まで。

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷498-3

電話：0847-22-1436、携帯：080-1913-4094

パソコンメールアドレス temple10@mail.mcat.ne.jp

編集

Editor's Note

後記

少子化・学問の専門化の中で、地方の公立高校は定員に満たない状況が続いています。しかし、最近の世羅高は、各科の専門性をもとに創造性豊かな活動を外部へ展開しています。「現状からの脱却」「外部への世羅高アピール」「生徒のやる気は豊富な経験と多くの人に認めてもらうこと」校長先生がいつも熱っぽく語られることです。教職員・生徒が一緒になって積極的に取り組んでおられます。

私たち同窓会員も世羅高の今の活躍に負けじと前に進まなくては…。世羅高の行事・同窓会の活動・各支部活動に参加し、発信された記事を読むことで、知らなかった同窓生同士が旧知のような仲になっていきます。思わぬ人脈が広がり、自分が教えられ、育てられていることに気づくでしょう。世羅高同窓会の組織は北海道から沖縄まで同窓生のための「成長と安心」のオアシスです。世羅高行事・同窓会や各支部活動にご参加いただき、「つながる力」を感じてください。

私たち広報委員会もがんばっていきます。(世羅高同窓会広報委員会)